

行政DXの取り組みとして、自治体システム標準化対応およびガバメントクラウド移行を推進 2026年3月31日時点で477団体への対応が完了

システム移行後の運用フェーズにおける、運用負荷の軽減・コスト最適化をめざした支援も拡充

日立 自治体ソリューション **ADWORLD**

株式会社日立システムズ（以下、日立システムズ）は、国が定める自治体情報システム標準化およびガバメントクラウドへの移行を、標準化基本方針における期限である2026年3月末時点で、477団体への対応が完了*したことをお知らせします。（*2026年3月末時点における実装必須機能の適合率は98%）

日立システムズは、日立グループが長年培った自治体システムの豊富な経験と高度な技術を結集した、標準化対象の20業務をはじめ、自治体業務全般を幅広くカバーするトータルソリューション「日立 自治体ソリューション ADWORLD」を提供しています。自治体システムの標準化に対応した新システムの開発とガバメントクラウドへの移行を進め、自治体DXの加速を支援しています。

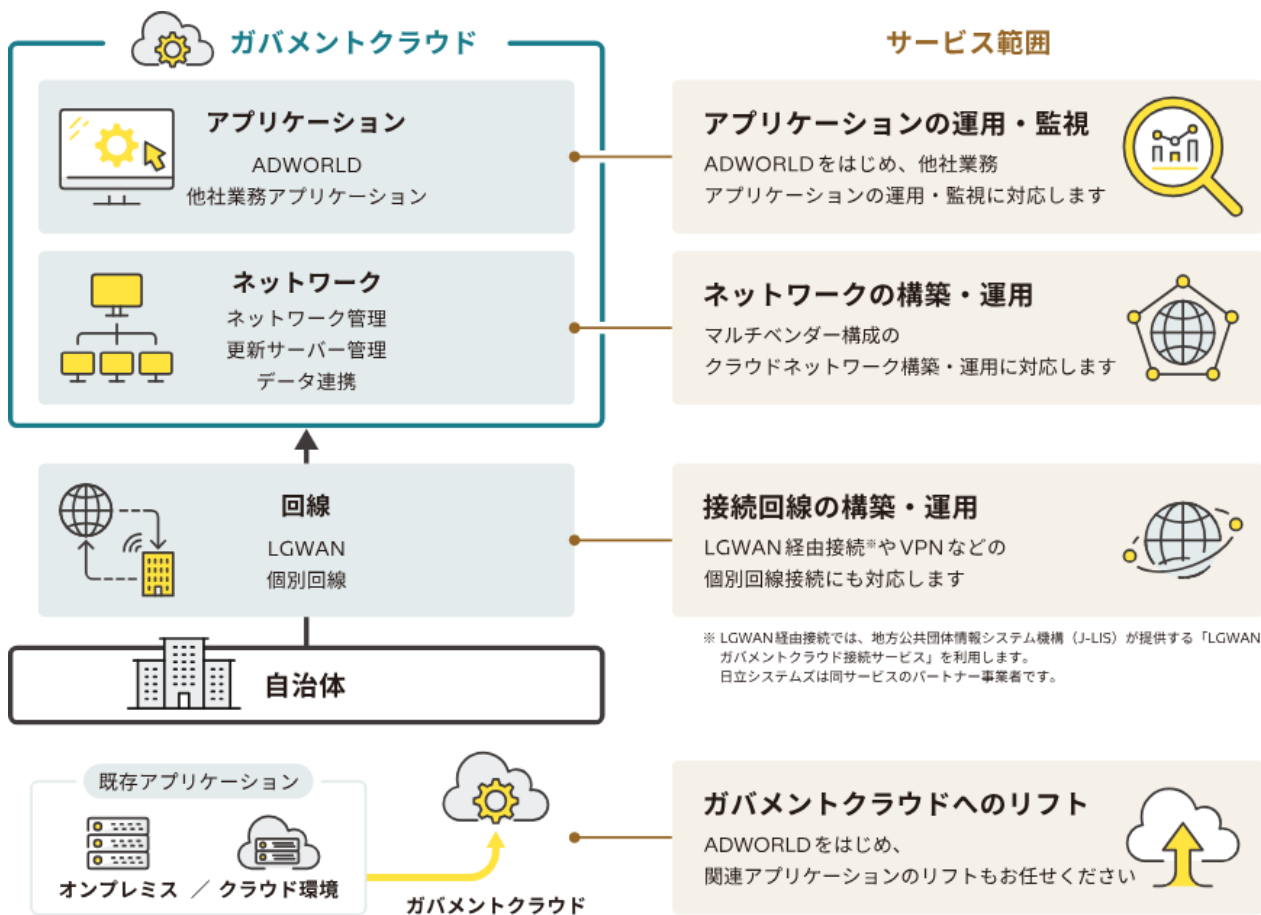
2026年4月以降も自治体情報システム標準化およびガバメントクラウドへの移行対応は継続しており、2026年5月末時点で、484団体への対応が完了しています。引き続き対応中の団体や特定移行支援団体に対しても、これまで培った知見と体制を生かし、着実な移行および運用の定着に向けた支援を継続してまいります。

本取り組みの推進にあたり、多大なるご連携とご協力を賜りました自治体の皆さま、協力事業者の皆さまに、心より御礼申し上げます。今後も連携を深めながら、運用支援の取り組みを継続強化してまいります。

日立システムズはガバメントクラウド関連のサービスとして以下をご提供しています。これから移行をご検討される自治体さまや移行後の支援をご検討されている自治体さまはぜひお気軽にお問い合わせください。

■ワンストップの運用支援を実現する、日立システムズのガバメントクラウド移行支援サービス

日立システムズは、ガバメントクラウド移行において、回線やネットワーク、アプリケーションの運用・監視にいたるまで、ガバメントクラウド対応に必要なすべてをワンストップで提供します。



① ガバメントクラウド向けのリフト支援

日立システムズの専門部署が対応し、2025 年度末までに移行した自治体との取り組みで蓄積した知見を基に確実なガバメントクラウドへのリフトを実現します。日立システムズは、他社の業務アプリケーションを利用している自治体においても、ガバメントクラウドのリフト支援として OS の構築までを行い、ガバメントクラウドへのスムーズな移行を可能とします。

② ガバメントクラウドリフト後の運用支援

デジタル庁・総務省が求めるさまざまな非機能要件を満たす運用サービスを提供します。具体的にはウイルス対策、OS パッチ更新、システム監視、ジョブ環境提供などにより運用を支援します。日立システムズが運用管理補助者となり実施するため、自治体職員の負担を軽減しながら安全に運用することができます。

③ ガバメントクラウド向けのネットワーク関連支援

ガバメントクラウド上で、自治体の業務システムがマルチベンダーで構成されている場合においても、各ベンダーの環境をネットワーク接続するとともに、本庁舎とガバメントクラウド間を専用の閉域网で接続する「ネットワークアカウント兼運用管理補助者」としての対応も可能であり、自治体のガバメントクラウドに関する課題に網羅的に対応します。

お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/ind/adworld/contact.html>

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。